

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

| | |
|--------------------|--|
| 教員氏名 | 藤田 真頼 |
| 主な担当科目 | 演奏会実習,合奏Ⅰ①/Ⅲ① FI(金曜5限),室内楽Ⅰ/Ⅰ①②/Ⅱ/Ⅱ①②/ⅢⅣⅤⅥ/室内楽演習ⅠⅡ_木管A,室内楽Ⅰ/Ⅰ①②/Ⅱ/Ⅱ①②/ⅢⅣⅤⅥ/室内楽演習ⅠⅡ_金管I,室内楽特別演習①②,副科グループレッスン,器楽 |
| 2024年の教育目標・授業に臨む姿勢 | フルート演奏における基礎技術の習得訓練の大切さを伝える一方、学生一人一人に向き合い、個性を伸ばせるように工夫する。 |
| 2024年の教育に関する自己評価 | 明るく元気に学生たちと接することで、ほとんどの学生たちの根気と元気を引き出すことができた。 |
| 2024年のFD活動に関する自己評価 | 弦管打部会のFDでは年度初めより、議題・資料の作成、司会を務めた。FD全体研修会では今年度からの新学長、新学部長のお人柄を伺い知ることができたので良かったと思う。 |
| 授業改善のために取り入れた研修内容 | 学生とのコミュニケーションを、無理なく取ることを心掛け、不自然ではないような対応に大分慣れてきた。部会内でのコミュニケーション伝達も新助手を含め迅速にとり、対応できるように心がけた。 |

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2722 教員名:藤田 真頼

1)アンケート結果に対する所見

室内楽Ⅰ②、室内楽Ⅳ、室内楽演習Ⅱの授業について、学生のレベル、向上能力の差があり、シラバスを含め当初の計画通りに進めていくことは不可能で、その都度レベルに合わせた選曲をして授業を進めている。そのため質問の趣旨にそぐわない可能性が多いと思われる。また、欠席の多い学生もいると、室内楽は成り立たず、他の学生に迷惑がかかる結果となってしまう。

2)要望への対応・改善方策

より分かり易い教育方法を学生たちに、具体的に指導していくように心がける。

3)今後の課題

余り個々のレベルの差がないようにグループを組まないといけない。
また、一人欠席すると室内楽の授業は成り立たないので対処方法を検討する。

以 上